

市民から尊敬される 議員であるために

～「未来を語る議会」を目指して～



大津市議会局

議会総務課長 清水克士





大津市議会 第8回マニフェスト大賞 議会グランプリを受賞



北川正恭・マニフェスト大賞審査委員長から議会グランプリの表彰状とトロフィーを受け取った高橋健二議長と竹内照夫議会運営委員会委員長

大学との連携による議会からの政策提案 政策検討会議で「いじめ防止条例」を制定

地方自治体や議会、首長などの先進的な活動や優れた取り組みを表彰する
2013第8回マニフェスト大賞の授賞式が二月一日、東京・六本木ヒルズで行われ、大津市議会が全国の議会のトップとなる議会グランプリと最優秀成果賞を受賞しました。これは、大津市議会と大学との連携による、議会からの政策提案の制度構築とその活用実績について高い評価を受けたものです。

授賞式では、高橋健二議長と竹内照夫議会運営委員会委員長が登場、北川正恭・マニフェスト大賞審査委員長から表彰状とトロフィーを受け取りました

大学とのパートナーシップ協定の締結

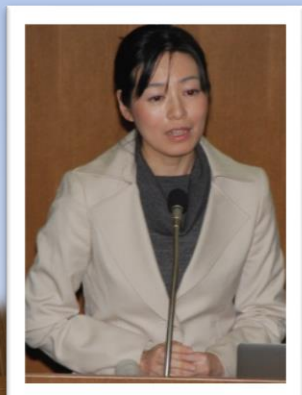
専門的知見の活用

龍谷大学	立命館大学	同志社大学政策学部・ 大学院総合政策科学研究科
協定締結 H23.11～	協定締結 H26.1～	協定締結 H26.4～
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ条例 講師紹介 ・議員研修会 講師 ・議会報告会 ファシリテーター派遣 ・議員研修会 講師 ・大学図書館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員研修会 講師 ・議会基本条例 助言 ・インターンシップ受け入れ (H26.8～9 5名) (H27.8～9 6名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員研修会 講師 ・議会BCP 助言 ・災害等対策基本条例 助言 ・議会放送番組 コーディネーター
		

議員研修会の講師、議会報告会のファシリテーター、議員研修会やワークショップの進行など、専門的知見の多様な活用



平成26年8月 「議会図書室研修」
進行:土山龍谷大学教授



平成24年8月
「質問力向上研修」
ワークショップ
講師:土山龍大教授



平成24年2月 講演テーマ「議会改革」
講師:土山龍谷大学教授



平成25年5月 講演テーマ「議会BCP」
講師:新川同志社大学教授

◎大津市議会が龍谷大学図書館と連携 ～全国初の試み！ ～議会の政策立案機能向上のために～

平成28年4月から、龍谷大学図書館の学術情報資料及びレファレンス機能を、大津市議会議員と議会局が利用することが出来るようになりました。地方議会で議会図書室の機能強化のために、大学図書館と連携することは、全国初の試みとなります。

利用できるのは、龍谷大の深草・瀬田・大宮の3図書館で、合わせて約210万冊の蔵書です。各図書館には司書が配置されており、議員からの文献に関する相談に応じることもできるようになっています。今後とも、政策立案機能の向上、議会図書室の整備充実の促進を図っていきます。



深草図書館



瀬田図書館



大宮図書館

大津市議会ミッションロードマップ（議会版実行計画）

～議会の責任と実行～

「市民に分かりやすい 開かれた議会」を目指して

目的

- 議会基本条例の「具現化」
- 議会活動に対する市民への「説明責任」
- 市議会の「見える化」

対象期間

平成27年10月1日～平成31年3月31日

進行管理

議会運営委員会による進捗の検証・評価、外部委員会も予定

工程表

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
政策立案	がん対策推進条例	(仮)土地利用基本条例		
	議決事件の検証		(仮)交通基本条例	
		議会における行政評価		
		若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり		
		専門的知見を有する職能団体との連携強化		
議会改革	正副議長選出に係る立候補制・所信表明制度の導入・適宜の議長記者会見の実施		政策形成過程における住民参加のあり方検討	
		議会活動の評価制度の構築		
	議会図書室の充実			

滋賀県市議会議長会 軍師ネットワーク事業

事業目的

議事機関としての役割を果たすため、事務局職員間の連携を深め、議長会として「**政策立案機能の向上**」と「**議事運営の課題解決**」を図ることを目的とする。

現状問題点

- 事務局体制の課題（平均職員数6.4人）
 - ↓
 - 出向人事(3~5年)による弊害(専門知識・経験不足)
 - ↓
 - ・議事機能及び庶務機能が中心
 - ・**議会改革推進機能及び政策立案機能の低迷**

解決策

- ① **広域での情報交換や相談が日常的に行える仕組み作り**
 - 現役事務局職員、OB事務局職員などのネットワーク構築
- ② **職員の能力向上を図る環境作り**
 - 研修会や勉強会の実施
- ③ **専門的知見の活用が可能となる制度導入**
 - 外部機関との連携

具体的事業

- ① 議長会として、**職員ネットワークの構築**
 - 事務局職員に限定しない有志職員による会員登録制のネットワークを構築し、改革モチベーションを維持する。
 - 議会情報の収集・共有・意見交換の場として活用する。(フリーメールの活用なども検討)
- ② 議長会として、**担当者会議等の開催**
 - 議会事務局の経験年数や担当業務に応じた研修や勉強会を定期的実施する。
- ③ 議長会として、**外部機関(大学<教授>・弁護士会<弁護士>・法務経験のある職員OBなど)と協定又は契約を締結**
 - 法務勉強会の実施、法務相談への対応、条例の検証など

必要経費

- ① 委託料 年額30万円
(講師謝礼5万、相談料24万、諸経費1万)

スケジュール

H27年度 局長会議 → 議長会議 事務局 → 局長会議 → 議長会議
(提案) (計画・予算審議) (実施) (検証) (報告)

「軍師ネットワーク事業」が 本格稼働

滋賀県市議会議長会と龍谷大学が パートナーシップ協定を締結

滋賀県市議会議長会と龍谷大学は7月13日、パートナーシップ協定を締結した。同議長会では今年度から議会事務局職員的能力向上を図るため「軍師ネットワーク事業」を行っており、龍谷大学側は政策法務面などでサポートする。議長会と大学との連携は山梨県町村議会議長会と山梨学院大学の例があるが、市議会レベルでは全国初。専門的なサポートが担保されたことで「軍師ネットワーク事業」が本格稼働する。



滋賀県市議会議長会と龍谷大学によるパートナーシップ協定の締結式（左が龍谷大学の赤松徹真学長、右が議長会の鷺見達夫会長）。

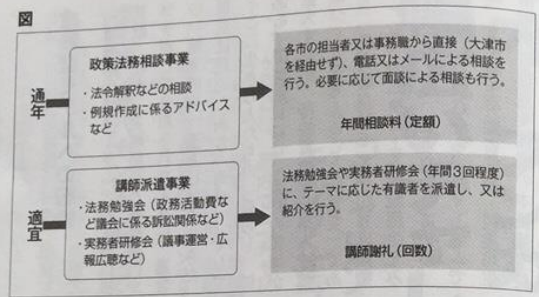
互いに高め合う関係を

龍谷大学で行われた締結式には、滋賀県市議会議長会の鷺見達夫会長（大津市議会議長）と龍谷大学の赤松徹真学長が出席。互いに協定書・覚書にサインした後、協定書を交換した。赤松学長は、同大学が大阪府茨木市議会・大津市議会と連携協定を結び、議員の質問力や政策形成能力向上のサポートをしてきたことを指摘。「軍師ネットワーク事業に本学の知的資源を活用することで県下の市議会の議員、職員的能力向上に寄与し、そのことを通して地域の発展に資することができる」と確信して

いる」と挨拶した。続いて、鷺見会長が「議長会では、議会からの政策立案のプレインとして議員を補佐する職員をいわば「軍師」として養成することで各市議会の議会能力向上、政策形成能力の向上を図る。それには専門的知見の活用が不可欠。これまで議会との連携実績がある龍谷大学が連携を受け入れてくれた。互いの強みを活かし、互いに高め合う関係を構築し、パートナーシップが末永く続くことを期待したい」と述べた。

政策法務相談事業、 講師派遣事業を実施

協定締結式終了後には、議長会を構成する13市議会の実務担当者や大学側のプロジェクトチームメンバーとの意見交換会が行われた。大学側は本多滝夫・法務研究科教授と土山希美枝・政策学部教授がコーディネーターとなり7人の教授で構成。意見交換では、協定の事務局を務める大津市議会事務局総務課副参事の田中善隆さんが「大学の先生方から



苦情がくるほど相談してほしい」と呼びかけていた。

全国トップのネットワークに

軍師ネットワーク事業は、大津市議会事務局総務課長の清水克士さんが発案。政策立案の補佐機能が不足しているとの議員ニーズ、議事運営の相談窓口がほしいとの職員ニーズから市議会議長会の事務局を務める大津市議会議長会の局長会議、議長会議に働きかけて了承を得た。目的は「議事機関としての役割を果たすため、事務局職員間の連携を深め、議長会として「政策立案機能の向上」と「議事運営の課題解決」を図ること。13市の平均職員数は6・4年、3〜5年程度で異動する

ため専門知識や経験が不足し、全体的には政策立案機能が低迷していることを現状の問題点として挙げる。その解決策として▽広域での情報交換や相談が日常的に行える仕組みづくり▽職員の能力向上を図る環境づくり▽専門的知見の活用が可能となる制度導入——を示し、具体的事業として①職員ネットワークの構築、職員等のメーリングリスト②担当者会議等の開催（事務局の経験年数や担当業務に応じた研修や勉強会を定期的に実施）③外部機関（大学、弁護士会、法務経験のある職員OBなど）と協定または契約を締結——を掲げた。この③が龍谷大学との連携協定締結だ。

5月23日には「軍師ネットワーク

ク」事業のキックオフとして、北川正恭・早稲田大学名誉教授が「議会事務局善政競争時代の幕開け」と題して講演した。約3000人の市議員が参加。北川氏は講演の中で「議会が頑張るためには、議会を支える事務局職員のレベルアップも必要。軍師ネットワークのような取組みは非常に有意義だ」とエールを送った。

議会事務局職員ネットワークは全国にいくつがあるが、「全国トップをめざしたい」と清水さん。滋賀の市議会の議会事務局（議会局）からどのような個性的な「軍師」が輩出されるのか注目したい。

*（本誌／千葉茂明）

いろいろな苗を増殖する。



式会社
澁川台4-6
01-0062
111
roup.com